

■小谷喜美 宗教家。霊友会創立し、戦時下に主婦の心掴んで発展。

こたにきみ

田中正造直訴1901＝ 神奈川県三浦で、半農半漁の貧しい家に生れる。

日露戦争終・1905＝ 5歳：

父が死去したため、

韓国併合・・・1910＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝11歳：小学校を中退し、叔母の家に住み込み奉公に出る。

第一次大戦終1918＝17歳：近村の漁師と結婚、

ベルサイユ条約・1919＝18歳：1年ほどで死別し、東京へ女中奉公に出た。

原敬首相暗殺1921＝20歳：

護憲三派圧勝1924＝23歳：\_本郷の下宿屋小谷安吉の後妻となり、先妻の子供3人を育てる。夫は弟の久保角太郎とともに熱心な法華信者で、霊能老若月チセを中心に霊の友会をつくっていたが、喜美を霊能者にして会を再建しようと、法華信仰を勧められ、角太郎の命じるままに厳しい修行を積んでね、一人前の霊能者に成長。

日本時代始・1926＝25歳：\*久保・小谷と3人で大日本霊友会をはじめ、極貧の中で、シャーマンとして布教活動を開始。

共産党事件・1928＝27歳：

世界恐慌・・・1929＝28歳：\_夫が病死。久保がつくった教典「青経巻」を基本に、法華信仰と先祖供養とを結びつけた教義を整える。

満州事変・・・1931＝30歳：\*久保とともに伊勢神宮に参拝したのを契機に、天皇中心の国家主義的色彩を強くし、東京を中心に家庭婦人や零細中小企業経営者に布教、組織化してめざましく発展し、

五一五事件・1932＝31歳：\_東京麻布に本部講堂が完成したが、

芥川直木賞始1935＝34歳：\_以降、幹部の分裂が激化、

日中戦争始・1937＝36歳：

総動員+健保 1938＝37歳：\_この年までに、孝道教団・思親会(霊照会)・立正佼成会が独立、組織の危機を招く。霊友会と改称。

日米開戦・・・1941＝40歳：

年金+総武装 1944＝43歳：\_久保の死後、その遺児継成を後継者として養育、

敗戦・・・1945＝44歳：\_敗戦を期に、従来の戦争協力を一変して庶民層に布教的的をしぼり、社会の教化と国民思想の善導を旗印に大々的な布教を展開し、占領下の最大の新興宗教に発展するが、

新憲法公布・1946＝45歳：

三大事件・・・1949＝48歳：\*翌年にかけて、脱税やコカイン・金塊の隠匿などが発覚、喜美の独裁専横に対する不満が一気に爆発、主だった幹部は妙智会・仏所護念会・正義会・妙道会などを組織して独立、

独立回復・・・1951＝50歳：

テレビ放送始・1953＝52歳：\_赤い羽根募金の横領・闇ドル入手・贈賄などの容疑で検挙され、釈放されたが社会的批判を浴び、

自衛隊発足・1954＝53歳：\_教勢の挽回を図るべく、久保継成を部長に据えて青年部を設置。

55年体制始・1955＝54歳：

インスタントラーメン・1958＝57歳：\_虎ノ門に久保記念講堂を建設して社会事業会館に寄付、

安保闘争・・・1960＝59歳：

TV宇宙中継始1963＝62歳：\_東京都東村山市に明法学院を設立、小谷育英会を発足させ、

東京リビック 1964＝63歳：\_明法中学・高等学校を設立。

\_さらに教典「弥勒経」をつくり、教義の中に弥勒信仰を採用して、

トルショック・・・1971＝70歳：\_没した。

著書に「私の修行生活35年」、説法集に「小谷喜美抄・天の音楽」がある。号は妙一。